

地 域 連 携

だ よ り

彦根市立病院

〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地

TEL: 0749-22-6050 (代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室

TEL: 0749-22-6053 FAX: 0749-22-6093

いつもありがとうございます

病院のチーム医療が地域へ歩みだします

医療技術局長 兼 臨床検査科長

樋口 武史

インфекションコントロールチーム(ICT)
抗菌薬適正使用支援チーム(AST)の強みとは

日頃より、当院感染症治療にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。この度の診療報酬改定におきまして、外来感染対策向上加算が新設されました。今回は、当院が誇る感染制御に関する専門家集団について紹介させていただきます。

わが国における感染制御に関わる専門家としては、インフェクションコントロールドクター(ICD)、感染管理認定看護師(CNIC)、感染制御認定薬剤師(PIC)、感染制御認定臨床微生物検査技師(ICMT)等、各専門学会より認定された有資格者が知られています。

現在、県内で4職種すべての専門家が在籍する施設は、当院と滋賀医科大学医学部附属病院の僅か2施設しかありません。院内感染対策を実践するにあたり、すべての専門家が集結していることが当院の最大の強みになります。

私たちは、ICTの構成員として、患者さんやご家族、病院職員等、院内すべての人を感染から守るため、最新の知識や技術、そして経験を活かして、問題となる感染症の発生状況を的確に把握し、科学的根拠に基づ



いた感染対策を実践するために日常から組織横断的な活動をしています。

また、ASTの構成員としても感染症治療において、効果的な治療、副作用の防止、耐性菌出現のリスク軽減のため、抗菌薬の適正使用を支援する活動にも注力しています。しかしながら、感染制御学は学問として確立されてからまだ歴史が浅いため、少なからず思い込みや慣例による不適切な感染対策が、当院も含めて例外なく見受けられます。これを改善していくためには、地域の医療機関が連携し感染対策に取り組む必要があります。その上で最新の科学的根拠を入手し、それらに基づいた効果的な感染対策を地道にコツコツと講じていかなければなりません。

こうした状況の中で私たちは、感染制御の専門家集団として強いリーダーシップを発揮し、より一層、地域の先生方との連携を強化し、ご期待に応えられるよう責務を果たして参りますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

彦根市立病院 地域医療連携室

業務時間：月～金曜日：午前8時30分～午後7時（但し木曜日は午後5時15分）

土曜日：午前9時～午後12時30分

連絡先：地域医療連携室 TEL0749-22-6053(直通) FAX: 0749-22-6093

県内で2病院のみ!

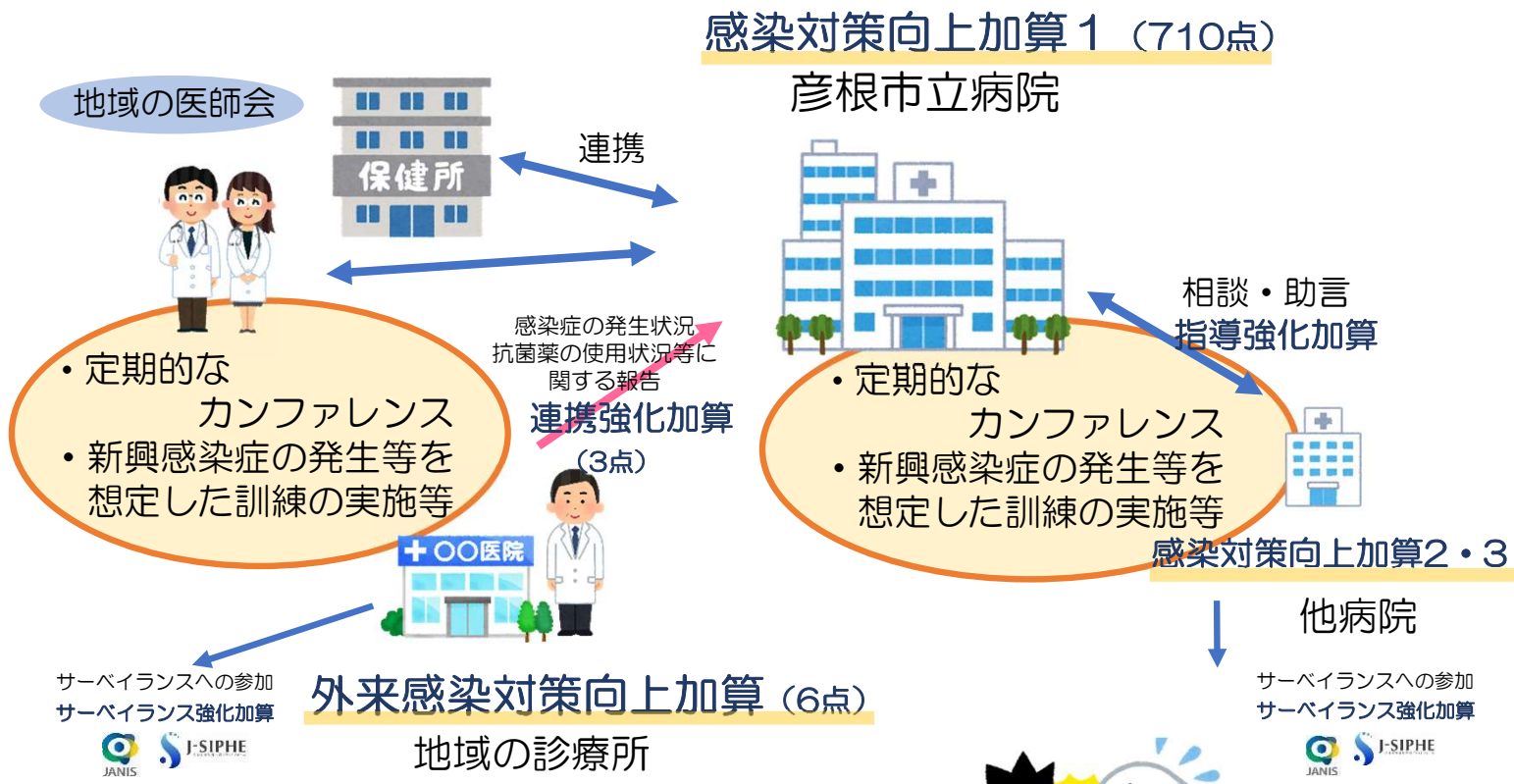
医師・看護師・臨床検査技師・薬剤師

4職種全てが感染制御に関する認定を
取得している医療機関



当院(感染対策向上加算1)がリーダーとなり
地域医療機関全体が連携し、
地域全体の感染対策を整えていきます。

◆ 湖東医療圏の連携



◆ 診療所のみなさんへ

4月の診療報酬改定から、「外来感染対策向上加算」について、診療所の先生方からご質問がありました。

届出後、以下の項目について連携保険医療機関との連携が必要となります。

- ・年2回以上、当院または地域医師会が主催するカンファレンスへの参加
- ・年1回の新興感染症の発生等を想定した訓練への参加
- ・年4回以上、感染症の発生状況・抗菌薬の使用状況等の報告
- ・抗菌薬の適正使用について相談・助言を受けること

地域医療
連携室から
案内します

当院と医師会の先生方とが連携し、17の診療所で算定を開始されました。

～お願い～
連携保険医療機関を当院で届出される場合は、必ず地域医療連携室までご連絡ください。



抗菌薬の使用に関するお悩みをご相談ください

当院では、医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師で構成された抗菌薬適正使用支援チーム(Antimicrobial Stewardship Team:AST)を発足し、院内で感染症治療を行っている患者さんを中心に活動しています。

ASTは薬剤耐性対策の観点から、感染源や細菌検査等の結果に基づいて、より最適な抗菌薬の使用を提案するだけではなく、主治医からの感染症治療に関するさまざまなご相談をお受けしています。



AST・4職種でのカンファレンス

抗菌薬適正使用支援チームの活動紹介

①血液培養陽性症例ラウンド

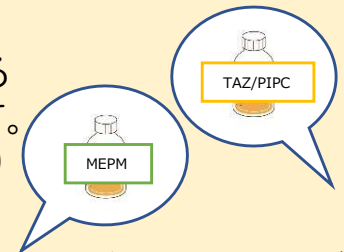
- ・細菌検査室と連携し、血液培養の検査結果をチェック
- ・原因菌や薬剤感受性の結果に基づいた抗菌薬の提案
- ・黄色ブドウ球菌やカンジダの場合には、ソースコントロールや合併症探索の提案を含めた感染症治療の支援をしています。



血液培養2セット

②広域抗菌薬の長期使用症例ラウンド

薬剤耐性菌の出現を防ぐため、広域スペクトラムを有する抗菌薬の必要量以上の使用を避ける目的で活動をしています。原因菌や薬剤感受性の結果が判明している場合には、より推奨される抗菌薬への変更も提案しています。



カルバペネム系抗菌薬など

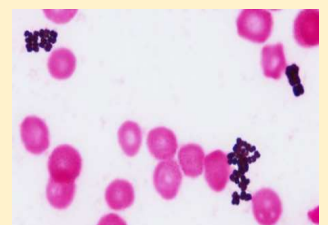
③*Clostridioides (clostridium) difficile*感染症(CDI)に対する取り組み

入院中に発症したCDIに対する抗菌薬治療の支援を行います。重症度や初発、再発など、状況に応じた治療薬の選択をご提案します。



④主治医からのコンサルト症例における抗菌薬適正使用支援

重症度に関わらず、肺炎や尿路感染症など、さまざまな感染臓器や原因菌による感染症治療の相談、細菌検査結果の解釈、抗菌薬の選択や投与量の調整、治療期間など多岐に亘って相談をお受けしています。



細菌検査 グラム染色

New Face! 新任医師紹介

このたび新しく彦根市立病院で働くことになりました。皆さまよろしくお願いたします。



消化器内科

山下 典亮
ヤマシタ ノリユキ

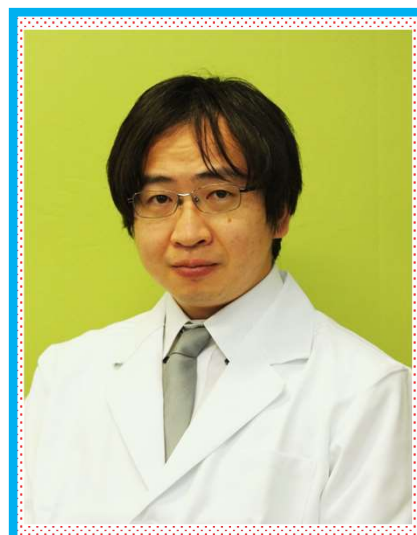
◆出身大学・卒業年	滋賀医科大学・2013年
◆専門医・認定資格	消化器病専門医・内科認定医 消化器内視鏡専門医
◆所属学会	内科学会・消化器病学会 消化器内視鏡学会
◆自己PR	地域医療に貢献できるよう精進いたします。
◆地域の先生方へ一言	より良い医療のために、皆さまとのより緊密な連携が大切だと思っております。よろしくお願いたします。



整形外科

杉山 貴彬
スギヤマ キヒ彬

◆出身大学・卒業年	岐阜大学・2017年
◆専門分野	整形外科
◆所属学会	日本整形外科学会
◆自己PR	岐阜の症例数の多い病院で勤務してきました。経験を活かして医療を行います。
◆地域の先生方へ一言	全力で対応させていただきます。いつでも病院に紹介してください。



脳神経外科

小野 功朗
オノ コウロウ

◆出身大学・卒業年	京都大学・2011年
◆専門医・認定資格	脳神経外科専門医 脳血管内治療専門医
◆所属学会	日本脳神経外科学会 日本脳血管内治療学会
◆自己PR	高校生の頃、びわ湖一周を自転車で達成しました。
◆地域の先生方へ一言	患者様に真摯に向き合い、最善の治療を迅速に行います。